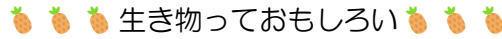




# 8月 園だより

令和6年8月1日（木）  
尚徳福祉会 井荻保育園

東京都知事選挙も終わり、選挙狂乱がやっとひと段落した感じです。都民は変化を嫌い「安定」をえらびましたが、良い方向に進んでいけると良いと思います。猛暑の夏がやって来ました。園庭には水遊び活動の為に道具が並べられています。子どもたちは、暑さにも負けずに水鉄砲の水しぶぎに大喜びしています。お友達や先生にかけたりして「キャーキャー」と、発散しています。初めての水遊びの幼児さんも、最初は慎重に慎重に始める子もいれば、はしゃいでしまい失敗する子もいます。泥遊びも、全身で感触を味わって夢になる様子があります。ざらざら、どろどろ、べたべた、ぬるぬる体験で身近な生活の中で少なくなった自然の素材との出会いを通じ、子どもたちは夏らしい解放された時間の中で集中して遊ぶ体験をする。菜園のプランターでの栽培等で身近な場所の自然に関わり、成長や変化に気づき自然事象への関心を広げていく。自然現象や素材（土・砂・水・花・草・木）との様々な体験を通して、五感を刺激できるような遊びに誘い、豊かな感性が育つようにしていきたいと思います。



生き物っておもしろい

井荻保育園に1匹のカブトムシが来ました。2歳クラスから5歳クラスで幼虫を飼育しています。「幼児の終わりに育てて欲しい10の姿」には、「自然との関わり・生命尊重」の項目があります。しかし、東京都心部を例にあげると「園庭がある認可保育園は10%台」というデータがあります。自然に触れにくい環境の保育園も存在していることが伺えます。「自然への関わり」の保障として、昆虫は子どもたちにとって一番身近な自然です。その辺に普通にいたる昆虫に触れることで、子どもたちは自然とリンクさせながら生き物について知ることができます。「ここに植物があるから、この虫がいるんだな」とか、「土とスイカの皮や昆虫ゼリーがあるからカブトムシは生きるんだ」などといったサイクルや環境を、ちゃんと実感できます。幼児がこれから自然を知ろうというとき、自然や生き物を繋げて考えることになります。身近な存在の昆虫は園や保育園の帰りに公園で会えますので、自然や命の入口、1歩目の役割を果たしてくれます。子どもたちは、昆虫だったら触ったり匂いを嗅いだりと、5感で体験しながら自然と関わられます。「実物での体験のしやすさ」も昆虫のいい所です。



## 8月の予定

- 5日（月） 身体測定（乳児）  
5歳お店屋さんごっこ
- 7日（水） えいごであそぼう
- 13日（火） 大原さん
- 19日（月） 身体測定（幼児）
- 20日（火） 避難訓練
- 21日（水） えいごであそぼう
- 22日（木） おばさんず



## お知らせ

- 住所や勤務先の「変更届」は、複写用紙の1枚目を保育園へ提出し、2枚目は区役所へ提出をお願い致します。
- 運動会の実施場所について  
10月12日（土）の運動会は井荻小学校で行います。  
また、詳細は後日決定次第、紙面にてお知らせいたします。
- 病児保育登録について  
杉並区では、現在4か所の病児保育施設があります。お子様が病気などで保育施設へ登園できない場合に一時的にお預かりする施設で、1度の登録で卒園まで4か所の病児保育室をご利用頂けます。また、ご利用を希望する場合は、利用希望日の前日から各施設に電話で予約をしてください。詳しくは、階段横にピンク色の「病児保育ファイル」がありますのでご覧ください。

## 主任のひとごと

運動会に向けて特別な練習を積み重ねるといふより、日常の延長線上にある運動会を目指しています。日頃の取り組みや遊びの中からどのような演目、競技が生まれるか今から一緒に頑張っていきます。